

登米市生活支援体制整備事業第2期モデル地区「新田駅前行政区」の活動状況について

10月15日(月)迫老人福祉センターにて、第2期モデル地区の活動状況について下記の内容で発表してまいりました。

1. 地域内にある特別養護老人ホーム「せくれ」との連携・協働
2. 震災後の南三陸町(戸倉地区)の住民との関わりやグラウンド・ゴルフを通しての交流
3. 地域の広報誌「ハートフル・ステーション」の発行
4. 地域の世代間交流、ミニディ、集い場
5. 住民みんなで描く「地域の未来像」
6. モデル地区になってからの地域住民の意識の変化



第2回研修会 相続について

9月30日(日)、真新しく改装された駅前センターにおいて、第2回研修会が開催されました。今回の講師は3班の笠原久昭さんより『相続のはなし』『昔の相続 今の相続』と題して講演して頂きました。相続を円満に進めるには相続制度の「昔」と「今」の違いを理解すること、相続関係は千差万別であることを認識することなどを学習し新たな制度の見直しを理解することが出来ました。これから誰でも経験する極めて重要な制度であり出席した皆さんは真剣に耳を傾けていました。



11班～14班お茶っこ飲み会

10月3日(水)生活センターで石川巳代子さんの国体出場報告会を兼ねた11～14班お茶っこ飲み会が開催されました。今年の国体(第73回福井しあわせ元気国体)は福井県で開催され、石川さんは9月22日から2日間に渡って若狭町で行われたグラウンド・ゴルフの宮城県チーム(男性6名、女性6名で編成)の一員として出場されました。競技は団体戦と個人戦で争われ、自分としては、まあまあの成績を残せたのではないかとのことでした。なお、この会では、まず9班の三塚幸男さんから国体の歴史等について説明があり、また8班の星徳一さんからは、石川さんが登米市内外のグラウンド・ゴルフやパークゴルフの大会で素晴らしい活躍をされている旨の紹介もありました。石川巳代子さん、国体出場を糧にこれからも役々のご活躍を!!



荒神・子松神社祭典 平成30年10月7日(日)

今年も恒例の荒神・子松神社の秋の祭典が実施された。年々参加する子供たちが少なくなっている子供神輿も軽トラックで運搬し、小さな子供や孫の手を引く大人たちがその後を追いかける形で何とか実施した。大きい子供で七歳ということで、こうした形で実施するしかないが、それでも沿道からたくさんの方が子供神輿を嬉しそうに観て下さった。夜7時から、新田駅前生活センターで「萌翔一座による舞踊・歌謡ショー」が行われた。全19個の出し物に、80名近い観客が魅了された。特に25歳の座長さんの女形は、妖艶で皆さんが見入っていた。例年になく盛り上がった祭典であった。



新田駅前三世代交流焼肉大会

10月14日(日)恒例の三世代交流焼肉大会は、台風の影響で1週間ほどずれましたが、曇り空にもかかわらず約40名の多くの参加がありました。柔らかいモツと肉が大好評で焼きそばも美味しく、賑やかに食べて飲んで、カラオケも披露され大盛会でした。



新田地区芸能文化祭 11/3～4

新田公民館の展示発表では、駅前地区からプリザーブドフラワーや油絵、写真、短歌、レース編みなどが出展され華やかに飾られました。新田中学校体育館で行われた芸能の部では、NHKのど自慢でチャンピオンになった2班の星昌利さんが特別出演。美しい歌声に皆聞き入りました。また宮澤駐在所長さんがマドロス姿で登場。熱演される踊りに、ヤンヤと歓声が上がりました。



今後の予定

- 平成30年11月22日(木) 新田駅前グラウンド・ゴルフ納会
- 平成30年12月 8日(土) 親子なわとび大会
- 平成31年 1月13日(日) 平成31年度 年祝いの式

編集後記

トップ記事にある定期発行の地域の広報誌(自治会会報)、町内会の各行事の実施、そして地域単位の懇親会や町内会としての実のある活動など、第2期モデル地区となった新田駅前行政区の活動状況等について、他地区の参加者等から高い評価が得られたものと思います。今後とも、市内のモデル地区を継続できるような地域の皆さんで、実のある町内会活動地域にしてまいりましょう。